

# 学びを生かし、よりよい社会を構築するための実践力の育成 ～学校・家庭・地域がつながる双方向性コンテンツの制作を通して～

## 1 研究のねらい

双方向性のあるコンテンツのプログラミングに着目し、授業で学んだことを実生活のなかで活用する場面が必要と考えた。プログラミング学習を通して、論理的思考を養って、生きる力・実践力を育成していく。

### 目指す生徒像

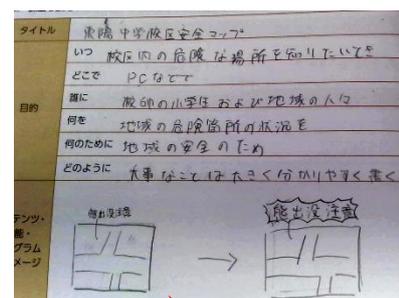
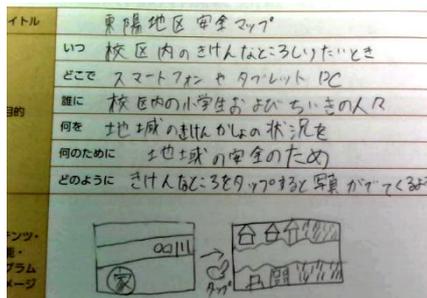
- 家庭や地域の中から問題を見つけ、プログラミングに関する学習を通して、最適解を導き出すための資質・能力を育み、実生活に生かすことができる生徒
- 学びのプロセスに基づいた、双方向性のあるコンテンツのプログラム制作を通して、よりよい生活を築こうとする生徒

### 学習計画

学習課題・学習活動	
気づき	・自分たちの生活を振り返って、身を守るために必要な情報とは何かについて話し合おう。
課題設定	・安全マップを作ろう。
構想・計画	・安全マップの作成計画を立てよう。 ・調べたことを発表しよう。 ・発表で聞いたことについて意見を交換し合い、情報を共有・発信する方法を考えよう。
実践・提案	・テキスト型プログラミング言語を使って安全マップを作ろう。 ・作った安全マップをWebサイトに掲載しよう。
省察	・アンケートをもとによりよい安全マップにしていこう。



【双方向性のあるコンテンツのプログラミング】



【生徒が考えたコンテンツの構想例】

家庭と協力し、地域のコアな情報も共有

## 2 研究の内容

### 授業実践

他に危険箇所はないかな？

【地震逃げ道・逃げ所マップ】

```
//青マーカーを用意
var blueIcon = L.icon({
  iconUrl: 'icon_blue.png'
});
//マップを表示
var mymap = L.map("mymap").setView([35.952816,
L.tileLayer("http://[s].tile.openstreetmap.org/
//避難所のマーカーを表示する
var marker1 = L.marker([35.952816, 136.174377],
marker1.bindPopup("<b>避難所</b>"));
</pre>


【HTMLプログラム】



【作成した個人の安全マップ】


```

出身小学校ごとに作業を分担すると効率がいいね！

家族の意見も聞いてみよう。

熊が出没した地域も情報共有しよう。

【話し合い活動の様子】

## 3 研究のまとめ

- <成果>・授業で制作した安全マップが、家庭や地域に貢献していることを実感する生徒が多かった。
- ・情報の技術における知識や態度などの習得を含んだプロセスを繰り返し、実生活に必要な資質・能力を高めた。
  - ・学んだことを、家庭や地域に還元することができ、よりよい社会を構築するための実践力へとつながった。

- <課題>・安全マップを迅速に更新できる環境を整える必要があり、後輩に受け継いでブラッシュアップしていく必要がある。
- ・自律的な学びにつなげるために、自分たちに必要なコンテンツを考え、制作をしていく。